

社会福祉法人 比内ふくし会
介護サービスセンターひない小規模多機能ホーム

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆実 施 日 平成 30 年 12 月 27 日

◆評価確定日 平成 31 年 2 月 28 日

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 16 日（13：00～13：30）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	7	1	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	10	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	6	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	9	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
登録者の利用開始前には職員間でミーティングを行うことで、本人・家族の情報やニーズについては共有することができている。必要としている支援についても、本人・家族の意向を基に、サービス内容を提案しサポートに繋げている。また、通い・泊まりサービスを利用する初回利用時には、職員の紹介や事業所内を案内するオリエンテーションを実施し、不安感の緩和に努めている。独居の方への訪問サービス時には、急な訪問者に驚かれないよう、時間をかけて対応し信頼関係の構築に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス利用時に、本人や家族・介護者がまず必要としている支援について、本人・家族の情報やニーズ・意向についての情報共有はできているが、住み慣れた地域で暮らし続けていく上でのインフォーマル（家族・近隣住民・民生委員）を活用したサービスについては、事前情報も含めて不十分である。理由としては、登録者を 24 時間・365 日サポートしていく認識が薄く、事業所の直接的な関わりがメインとなってしまう点にある。その他、初期のサービス提供時に気遣い（声掛け等）が足りず、緊張や不安を増進させてしまったこともこれまでにあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
登録者を 24 時間・365 日サポートしていくことを念頭に置いて、本人・家族から十分な情報をいただく。その中で、必要に応じてインフォーマルを活用したサービスを検討し提案していく。また、職員間で情報を共有し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう本人・家族の意向に沿ったサービスを提案していく。初期のサービス提供時の気遣いについても、十分な事前の情報を職員間で理解した上でコミュニケーションをとり、顔なじみの関係を築いていけるよう努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 16 日 (13 : 30～14 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	7 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	3	4	5	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	5	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	5	5	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	3	5	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス提供前に本人・家族の意向を基にした介護計画書を作成。職員間で長期・短期目標を確認し、そのためにどのようなサービス・サポートが必要かを検討しているため、目標の理解はできている。また、定期的にミーティングを開催し、本人の心身の状況や主訴、家庭環境等の項目ごとに話し合いを実施している他に、介護計画書に記載している目標について評価している。現状を確認し、適したサービスが提供されているか話し合い、計画の継続または改善を検討している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護計画書を都度確認することで理解はできているが、訪問・通い・泊まりサービスが日々異なる利用者一人ひとりの計画書を把握することが、登録者数の増加も含めて困難な状況になってきている。ミーティング時には同じ職員が、サポート内容の変更や継続の提案をし、決定となっていることが多く見受けられている。また、ミーティングにて決定した援助内容についても職員間で差が出てしまい、連絡事項の伝達についても本人・家族にストレスを与えることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
介護計画書の周知が低いこともあるため、利用者一人ひとりの介護計画書を皆が見やすい、確認しやすい場所に変更していく。また、確認後は職員個々に押印していただき共有の漏れを防いでいく。ミーティングの際には、皆が発言しやすいよう環境を整えていく。例えば、一つの決め事について一人ひとりから必ず意見をもらう等の対応を実践していく。また、決められた内容については職員間で差が出ないように申し送り帳や PC 記録を十分に活用するほかに、口頭での申し送りを実践することでストレスの軽減に努めていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 30 年 12 月 17 日（13：00～13：30）
-----	--------------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	9 人
------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	1	7	4	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	11	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	8	3	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	10	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人が必要とするサポートについて職員間で情報を共有し、できる部分、できない部分がある程度把握しケアに活かすことができている。ミーティング時においては、本人の行動や言動を考慮し、求められるサポート内容について話し合いを行っている。自発的な言動が困難な利用者への対応として、他利用者よりも声を掛ける回数を多くし、必要時にはバイタルを測定する等、観察を強めている。また、体調不良時には看護師と連携し早めの受診を検討し、家族の協力の基で対応に移すことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現在使用しているアセスメント票の確認項目は 30 項目近くあるが、利用者一人ひとりの情報すべては把握しておらず、特に退院者や新規の登録者については都度アセスメント票を確認し対応している状態。しかし、職員の中には、1 度は目を通してはいるがアセスメント票が何処にあるか把握していない職員もいる。また、現在使用しているアセスメント票には「以前の暮らし方」についての内容が薄いことも理解・把握不足の理由として挙げられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
現在使用しているアセスメント票の写しをとり、別ファイルに綴じて職員間でいつでも確認できる場所へ置くことで情報の共有を図っていく。これを継続していくことで、情報の把握に繋げることが期待できる。また、確認後は各職員が押印することで確認の漏れを防止していく。「以前の暮らし方」を知るためのアセスメント票の項目内容については、項目を追加するのではなく現況のものを継続して使用し、職員皆が理解しやすいよう詳細を記載していくように改善していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 17 日（13：30～14：00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	5	6	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	7	3	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	1	9	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	12	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②については余暇活動の一環として、季節ごとに行事を開催したり地域のイベントに出向いたり住み慣れた地域との関係を継続できるよう支援している。また、家族等に対しても事業所主催の『きりたんぽ会』に出席していただき、共に料理し会食することで家族との交流を深めることができるよう対応している。③については、事業所が直接接していない時間帯に、共に過ごされた家族よりどのように過ごされていたかを確認することで状態の把握に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の生活スタイルは、本人・家族からの聴き取りで確認することは可能であったが、これまで築き上げてきた本人の人間関係について情報収集はできていない。理由として、主に携わる方が家族等であるという職員の認識が強くあったことが挙げられる。事業所が直接接していない時間帯の本人の把握については、概ね把握はしているが、24 時間・365 日サポートして行く上で、利用者によっては（特に一人暮らしの方）どのように過ごしていたか把握できない不明な時間帯もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人のこれまで関わってきた人間関係を知っていくために、アセスメント票に『これまで築き上げてきた人間関係（仮称）』といった項目を追加し、本人・家族より聴き取りを行い職員間で情報の共有を図っていく。本人がどのように過ごしているかの把握についても、事前に本人・家族より聴き取りを行う他に、訪問サービス（安否確認や所在確認）の回数を増やし把握に努めていきたい。このことは、まず初めに独居の方を中心に実施していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 17 日（14：00～14：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	7	3	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	9	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	9	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	11	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については、配食サービスの活用や図書館の利用、民生委員の協力等を得ながら地域での暮らしを支援している。②についても本人・家族の意向に沿い、定員の範囲内でサービスを提供している。③については、心身機能の変化があった際には、都度ミーティングを開催し職員間で情報の共有に努める他、ケア内容の見直しを行っている。④については、例えば通いサービスの予定であったが本人の希望により泊まりサービスを追加する等、臨機応変に対応できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①について、事業所として体制は整えているものの、支援できている利用者は半数以下である。本人・家族からの意向や情報を基にサービスを提案させていただいているが、まず事業所職員が地域の資源を把握しきれていないのが現状。③についても「いつもより言葉数が少なく元気がない、いつもよりも不安定な歩行状態ではないか、普段よりも食事量が少ないのではないか」といった利用者の変化に気づき、他職員へ周知させる職員が決まっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後、地域の資源を十分に活用できるよう事業所のミーティングを活用し、職員間で確認・情報を共有する。その中で、利用者に必要若しくは、生活の質の向上に繋がる内容のサービスがあれば本人・家族へ提案し、住み慣れた地域で楽しく、メリハリを持った生活ができるよう支援していく。気づきについては、些細な情報が急変の前兆確認また、事故防止に繋がっていくことを職員間で認識できるよう、日々のミーティング時に伝えていく。その他、必要に応じて内部研修を開催する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 17 日 (14 : 30～15 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	2	8	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	10	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	8	1	2	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	3	9	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①について、新規登録時や退院時に各関係機関（病院や福祉用具担当者）と担当者会議を開催し、利用の開始にあたり、極力ストレスの少ない生活環境を提供できるよう情報の収集に努めている。②については、地域包括支援センターからの相談や紹介を受け、当事業所の重要事項を説明した上でサービス提供に繋げている。③については、地域で開催された花火大会や芸術文化祭等のイベントに参加し、気分転換を図ると共に地域住民と交流を図っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④について、運営推進会議の委員の方々や民生委員・地域の方々の見学・相談、ボランティアの方々の訪問はいただいているが、高齢者や子ども等の地域住民が普段より事業所を訪問されることはない。開設し、間もないため事業所の知名度が低いことも理由に挙げられる。また、地域の会合等の情報もないため事業所からも参加はできていない状況。地域包括支援センターへ情報提供の依頼をしていなかったことも関わりがない原因の一つ。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も、運営推進会議の開催と見学・相談・ボランティアの受入れを積極的に行い、地域に根付いた事業所を目指していく。また、地域包括支援センターに情報提供を依頼し、地域の活動や開催されるイベント、会合等があれば積極的に参加し、現状の課題を理解すると共に当事業所についてもアピールしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 18 日（13：00～13：30）
7. 運営	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	4	2	2	4	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	8	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	3	2	6	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	11	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①について、ミーティングを開催し利用者を支えるために必要な意見を述べることはできているが、全体的に、意見をする職員が固定してきている現状である。②については、行事の一環として『家族意見交換会』を開催、サービス内容に対する意見や質問等を受け運営に反映している。また、『アンケート調査』を実施し、職員や事業所に対する率直な意見をいただいている。これらのことを踏まえ、今後もサービスの質の向上に努めていきたい。④については、冬期間、除雪作業が困難な一人暮らしの高齢者宅に出向くボランティア活動に職員全員が登録している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③について、事業所玄関に『ご意見箱』を設置しているが、地域からの意見・苦情はこれまで確認できていない。また、運営推進会議の場や見学・相談以外で、地域の方々と意見交換を行う機会が少ないのが現状。地域包括支援センターと普段からの繋がりも薄いため、地域から求められるものや課題等についても事業所で把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
これまで通り『ご意見箱』の設置や運営推進会議を開催していくが、これまで見学者や相談者に対して意見をいただく際の質問が漠然としたものであったように感じる。事業所は、何を重視してスキルアップに繋げていきたいのかを明確にした上で質問し意見をいただくようにする。また、今後地域包括支援センターと連携を強めていくため定期的に意見交換の場をつくり、地域から求められるものや課題等について情報を共有していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 18 日 (13 : 30～14 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	8	1	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	2	5	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	12	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	0	4	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①について、内部研修では 24H シートに関する研修会や搜索者を想定しての搜索対応訓練を実施。また、緊急時に備え、消防職員からの救急救命講習会を開催している。外部研修では、当事業所のスキルアップに繋げることができるよう小規模多機能型居宅介護についての研修会に参加している。②については、介護支援専門員の更新研修に参加している。④については、介護事故防止検討委員会を発足。毎月、ヒヤリハット・事故報告の全件報告を行い、再発防止策を検討している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③については地域連絡会といった情報を得ることが出来ず、これまで参加することができていない。普段から地域包括支援センターとの連携が薄かったことが理由として挙げられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後、地域包括支援センターと連携を強め、地域連絡会等の開催情報を得ていきたい。また、このような会に参加することで地域から求められるものや課題等について情報を共有できることが期待できる。その他、サービスの質の向上に役立つことを意識し、機会があれば積極的に参加していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 18 日 (14 : 00～14 : 30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	9 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3	0	0	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	4	6	2	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	10	0	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	4	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①について、身体拘束適正化委員会を発足。委員会を開催し、身体拘束に該当する行為等を含めた内容のマニュアルを基に職員間で定期的に確認し、認識を強めている。現在、身体拘束に該当する利用者はいないが、身体拘束ゼロを目指している。②についても高齢者虐待防止委員会を発足し定期的に委員会を開催し、虐待防止に取り組んでいる。④については、現在活用はしていないが、内部研修として権利擁護について研修会を開催している。⑤については、事業所内で管理できるものについては個人情報の漏洩防止に徹しているが、外部に公表となる内容のもの（広報等）については、事前に身元引受人へ確認し判断をいただいている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③について、全室個室であることやトイレが 3 ヲ所、浴室は個室であることからプライバシーの確保は容易にできている。しかし、事業所の建物の構造上、浴室隣の脱衣室は汚物処理室を使用するための通路ともなっている。脱衣室使用中に、汚物処理室に向かう他職員が入口を開閉した際にはプライバシーの確保が難しい状況となる。④については、内部研修を開催しているが難しい分野であるため、きちんとした理解に至っていない状況。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
入浴時には、浴室を使用していることが職員間で把握することができる。その際は、汚物処理室を使用しないことを徹底していく。また、万が一のこと想定し浴室にパーテーションを設置することでプライバシーの確保に繋げていきたい。利用者の方々が安心して心地良い環境で入浴していただけるよう配慮する。また、成年後見制度については、今後も定期的に研修を開催していくことで理解に繋げていきたい。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 比内ふくし会	代表者	理事長 佐藤 剛	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人比内ふくし会は、特養、ショートステイ、デイサービス、グループホーム、訪問介護、訪問入浴、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、幅広く事業を展開しており、心のこもった介護や看護、支援を提供するとともに、共に助け合い、励まし合っていく人間関係を大切にしながら、利用者様のことを常に中心に考える事業の運営を心がけています。 小規模多機能では、住み慣れた地域で生活し続けられるよう登録者・ご家族のニーズに沿ったサービス提供に努めています。
事業所名	介護サービスセンターひない 小規模多機能ホーム	管理者	管理者 石川 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	0 人	1 人	1 人	0 人	4 人	0 人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	初回のため、なし。	初回のため、なし。	- 自己評価は、正直に評価されており、しっかりと職員の意見を取り入れ実施されている。 - 改善計画について、取り組み内容は検討されているが、開催回数等、明確にしてはどうか。	開催時期や回数を立案し、計画に沿い実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	初回のため、なし。	初回のため、なし。	- 事業所の雰囲気はオープンな雰囲気で居心地が良く、利用者の方々もリラックスされているように感じる。 - 事業所に看板がなく、何処に事業所があるかが分かりづらい。 - 事業所前の玄関は、傾斜となっているため冬場は転倒の危険がある。	- 事業所の看板については、検討し来年度の設置を目指す。 - 玄関前の傾斜については、冬期間の凍結防止のため、融雪剤を使用し転倒防止に繋げる。
C. 事業所と地域のかかわり	初回のため、なし。	初回のため、なし。	- 職員の接遇については、大変良いと思う。 - 地域の方々に対しては、知名度がまだ低いので、徐々に理解してもらい必要がある。	- 地域行事や法人内（各事業所）の交流会には、これまで通り参加し交流を図っていく。 - 地域の方々に事業所を理解していただけるよう、認知症カフェやサロン等に出向き、交流を深める。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	初回のため、なし。	初回のため、なし。	・個別支援として、買い物や地域行事へ参加しているので、今後も継続してほしい。 ・利用されている方が比内地区でない方もいるが、その方の地域で開催している行事にも参加している。こちらもこのまま継続してほしい。	・左記内容を継続していくと共に、地域包括支援センターと連携を図り、会議や地域行事へ参加していくことで、地域住民と交流を図る。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	初回のため、なし。	初回のため、なし。	・事業所の現状や取り組みについては話し合われているが、地域の心配の方等の事例検討は行われていない。	・地域の心配な方等の事例が、地域包括支援センター等からの情報で挙がった場合には、検討していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	初回のため、なし。	初回のため、なし。	・年２回の消防訓練を実施しているが、地域の方々にも参加を促してみてもどうか。	・消防訓練や捜索訓練実施時には、地域の方々に声を掛け、可能な範囲での参加を促していく。

